

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 らいおん 組	4 月 16 日 ( 水 )	田口

## ● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～自然～ 図鑑や地図をつくろう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
いろいろな素材や用具を使って作ることを楽しみ、意欲を高めている。作ったものを友だちに見せて、認め合って喜んでいる。友だちと意見を出し合ったり、協力したりする姿がある。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
11:15～11:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が製作したについて、頑張ったところ、好きなどころなどを含めて、みんなに紹介する。</li> <li>・グループで協力した点などを発表する。</li> <li>・作品を見合い、自分の好きなどころを考えて発表する。</li> <li>・友達の作品を見て好きなどころ、素敵などころを考え、発表する。</li> <li>・春の作品作りで題材となった公園の好きなどころ、どのような植物や生き物があつたか振り返る。</li> </ul>	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。</li> <li>・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。</li> </ul> <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した作品</li> </ul> <p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を完成させ、作品を見せ合ったり発表したりできるように保育室の環境を整える。</li> </ul>

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは自然物を発見した場所や物の説明を交えながら、作った作品の発表をしていた。</li> <li>・見てほしいポイントや作る際に頑張ったことを自分なりに伝えようとしていた。</li> <li>・ほかのグループの作品を見て良い点や面白ところなどを口々に発言し、友だちと共感することを喜んでいた。</li> </ul>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「これはこの図鑑にのっているよ」「この公園にあるものを作ったよ」など具体的に説明する姿があった。</li> <li>・友達の作品を見て「これはどうやって作るのかな?」「こんなこともしてみたい」という意欲的な発言が聞かれた。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発想や意見を肯定する声掛けをして、自信を持てるようにしていった。</li> <li>・今後の活動にもつながるような声掛けを心がけた。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の活動を通じて、自然物に興味を持つきっかけとなり、調べたり遊びに発展させたり、いろいろな物や活動へ繋げることができた。</li> <li>・友だちと情報を共有し、それぞれの記憶や発見を製作として表現することで、コミュニケーション能力や協調性も同時に育まれていた。</li> <li>・また、自分たちの身近な環境への興味関心が深まり、日常的な探索活動への意欲も高まっている様子が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの興味関心、好奇心の育てとして非常に良く進めてくれていたと感じる。日常的な生活の中にも継続性を持っていける姿が見られているため、引き続き保育を願いたいと考える。</li> </ul>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 らいおん 組	8 月 27 日 ( 水 )	田口

## ● 実施計画

活動テーマ		
食べ物～野菜～ 栄養表づくり、野菜と食べ物の仲間分け		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
栄養士から野菜の栄養についての話を聞き、食べることや栄養、体への働きについて興味を持っている。日々の給食でも入っている野菜に興味を示したり、食べることに意欲を持ったりしている。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	【環境設定】 ・活動をしやすいように机などを配置する。  【準備物】 ・コピー用紙 ・色鉛筆 ・図鑑、絵本 ・赤緑黄色の画用紙 ・献立表
11:00	・前回までの活動の振り返りをする。  ・栄養士の話を振り返りながら栄養について考える。  ・給食に入っている野菜や食材を思い出しながら発表する。  ・野菜や食材の絵を描く。  ・描いたカードを使って栄養素ごとにグループ分けする。  ・活動の振り返りとまとめをする。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・今までの活動を振り返る中で、普段の生活の中でも新たに発見したことや気付いたことを口々に発言していて、野菜や食べ物への興味を深めている様子があった。麦茶のパッケージに「ミネラル」という言葉を見つけたことや家庭でも野菜を切ってみたことなどを友だちと共有していた。</p> <p>・給食に入っている野菜や食べ物を思い出しながら、絵を描いてみるとたくさんの食材があることに驚いていた。</p> <p>・栄養素のグループ分けでは、最初は栄養や体への働きを伝え、それぞれ自由に表の上にカードを置いてみた。色や料理などで分けている様子があった。正しいグループに置けているものを伝えながら、何度か取り組んでいくうちに規則性や特徴、種類に気付き、なんとなく分けることができていた。</p> <p>・当日の給食と照らし合わせながらバランスよく給食が作られていることや食べることの大切さを伝えた。個人差はあるが、いろいろな栄養が必要なことやバランスよく食事することなどはなんとなく理解している様子だった。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <p>・「麦茶にミネラルあったよ。」「麦って野菜なんだね」「野菜食べたからウンチ出たよ」など新たに発見したことや自分の身近にあったことなどを話していた。</p> <p>・「色が同じだから同じグループかな？」「なんかパワーになりそうだよ」「カレーに入ってるから同じグループじゃない？」などいろいろな視点でグループ分けを楽しんでいた。</p> <p>・「給食には全部の色(栄養)が入ってるんだね」「考えるの大変そう」とそれぞれが感じたことを話していた。</p> <p>【保育者との関わり】</p> <p>・子どもの様子を見守り、発見や気づきに共感した。</p> <p>・子ども言葉を拾いながら、さらに発想を広げるために質問を投げかけたり新たな疑問を投げかけたりした。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・今までの活動で話したことを普段の生活でも意識している子が増えてきていることに驚いた。子どもならではの視点や気付きもおもしろく、活動の広がりを感じた。広がりがある分、疑問や意欲にすべて対応できないこともありもどかしさを感じる。活動だけではなく探求を深められるような機会を設けたり、関わりをもったりしていきたい。</p> <p>・子どもにとって身近な内容だとより理解や興味も深まるのだと感じた。難しい内容も繰り返し伝えたり身近なものに置き換えたりしながら理解を深めていきたい。</p>	<p>・100%の理解は大人でも難しいが、こどもたちのなんで？や何故？が食物に対して一つ一つ理解が深まっていった活動であったと捉えている。テーマの活動は一旦終了になるが、子どもの学びに津軽様に保育を展開していければと考える。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 らいおん 組	11 月 17 日 ( 月 )	田口

## ● 実施計画

活動テーマ		
アート～絵～ トリックアート工作を作ってみよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
前回の活動からトリックアートを自分でも描ける自信と楽しさに気づき、トリックアートの本を見ながら自由帳に不思議な絵や逆さ絵を描いて楽しんでいる。やってみたい工作を見つけてきて、活動で取り組むことに期待をもっている。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	【環境設定】 ・活動をしやすいように机などを配置する。
10:00	・トリックアート工作をする。  ・メビウスの輪を作る。  ・いろいろな切り方に挑戦する。 (4種類)  ・うまくできなかつたものに再挑戦する。  ・次回の活動について話をする。	【準備物】 ・折り紙 ・のり ・ふせん ・ペン ・はさみ

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・トリックアート工作の本の中から子どもが見つけた「メビウスの輪」作りに挑戦した。本を何度も読んでいる子は切った時にどうなるかわかっていた。初めて見て挑戦する子はどのようになるか、期待をもっている様子だった。予想する際もいろいろな意見が活発に出て、楽しそうにしていた。</p> <p>・ねじって輪を作る工程や線に沿って切る工程で苦戦する子が多かった。失敗をしてしまう子もいたが、成功した子の様子を見て、驚きを共感したり、「もう一回やりたい」という意欲をもったりしていた。</p> <p>・いろいろな形になることに驚き、何故そうなるのか考えたり、次の形の予想の参考にしたりしていた。</p> <p>・うまくできない子にも友だち同士で励まし合ったり教え合ったりしていた。</p> <p>・次回は「また絵を描きたい」という意見が多かったため、自画像を描いてみることにした。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぼくがやりたいって言ったやつだ」と活動で取り組めることを喜んでいて。</li> <li>・「パーティーつなぎみたいになるかな?」「8の形かな?」「きっと全部バラバラになるよ」と楽しみながら予想し、活発に意見を出していた。</li> <li>・「うわー」「つながったー」「四角になったー」といろいろな形が出来る度に驚きと発見、喜びの声を上げていた。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの様子を見守り、発見や気づきに共感した。</li> <li>・それぞれの意見を肯定し、自信をもって発表できるようにした。</li> <li>・子どもが取り組んでいる様子を見守り、肯定的な声かけを意識して、自信を持って自由に取り組めるようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・前回の活動でやってみたいものを見つけおおくように伝えたことで、本を読む姿が増え、興味の深まりにつながった。また、課題を自分で見つけたことで意欲も高まり、楽しく取り組むことができていた。</p> <p>・難しい工程も多くあったので、全種類の形を全員で取り組んでから、自由に挑戦できる時間を作った。失敗してしまった子も再挑戦したり、友だちで教え合ったり、諦めない気持ちにつながることができた。</p> <p>・絵の具の活動が楽しかったという意見が多かったため、みんなで相談して次回は自画像を描くことにした。今後も子どもたちの意欲に合わせて活動していきたい。</p>	<p>・あえて期間を設定して、子どもたちが自ら取り組み、探究したい意欲を持てるようにした環境および保育の展開であったと捉えている。日々の中での大人や同年齢児との対話的な学びにもつながっていることが非常に良かった。活動にも考えてきたこと、培ってきたこと、イメージを働かせてきたことが見て取れて良いと感じる。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 らいおん 組	2 月 17 日 ( 火 )	田口

## ● 実施計画

活動テーマ		
お金 働いてお金を貯めよう①		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
仕事表を作り、働いたらその分だけお金がもらえるということに意欲をもっている。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	【環境設定】 ・活動をしやすいように机など配置する。
14:00	・前回までの活動の振り返りをする。  ・みんなで決めた仕事を試してみる。  ・仕事のやり方やお金の貯め方の確認をする。  ・稼いだお金で玩具を買って、遊ぶ。	【準備物】 ・仕事表 ・模擬通貨 ・レジスター ・折り紙 ・ぬりえ ・粘土

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・前回作った仕事表を見ながら自分でできる仕事を行なってみた。普段から手伝いなどをよくしてくれている子は「簡単」と言いながら行なっていた。「こんなことも仕事になるかな？」と新たに自分たちでできそうな仕事を見つける子どもいた。</p> <p>・仕事をした分のお金がもらえると嬉しそうにしていた。それぞれがいくらもらったのか見せ合ったり競い合ったりするような姿もあった。稼いだお金で玩具を買ったりそれぞれに枚数や個数の差があることに気付き、お金をたくさん稼ごうと意欲をもっていた。</p> <p>・今後の活動について話をし、普段の生活の中でも仕事をしていくことや貯めたお金で何をしたいかなどを話し合った。自分たちでもお店屋さんをしたいことやほしいもの、したいことなどを次々に上げて、期待をもっている様子だった。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こんなの簡単だなー」「もっと仕事したいなー」と楽しみながら行なっている様子だった。</li> <li>・「もっと難しい仕事考えてお金たくさんもらおうか」と仕事の難易度によって報酬が高くなることを理解して、仕事を増やそうと考える子どもいた。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの様子を見守り、発見や気づきに共感した。</li> <li>・それぞれの意見を肯定し、自信をもって発表できるようにした。</li> <li>・子どもが取り組んでいる様子を見守り、肯定的な声かけを意識して、自信を持って自由に取り組めるようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・簡単な仕事を複数人で行なって、早く終わらそうという姿があった。子どもたちなりに考えていたが、「みんなでやってずるいな」という子どもいたので、ルールややり方など考えていく必要があると感じた。</p> <p>・働いたお金で買物をするるとそれぞれに差が大きく見えた。あまり買い物できなかった子にも次はどうすればたくさんお金がもらえるのかなどを話し、目標をもって仕事できるようにしていきたい。</p>	<p>・自分で働いて稼ぐことで、お金(給料または報酬)がもらえることが良い経験になっている。沢山お金を貯めたい、物をたくさん買いたいから仕事を頑張るなど、子どもそれぞれが自分たちなりの目標をもっていることが非常に良いと感じた。生きる力の基礎が育っていると感じる。</p>